

第6回ワールドフード+ふれ愛フェスタに参加して

南尾張分区幹事
日高 啓治



ワールドフード+ふれ愛フェスタ（WFF）に、今回は出展者として参加できました。地区内8分区の1つ南尾張分区は、知多半島の7つのロータリークラブから構成されており、WFFにおける分区ブースの出展は、ガバナー補佐の所属クラブが輪番で担当しています。

熊澤岬ガバナー補佐が所属する東知多ロータリークラブは、今年度創立50周年を迎えます。そのための各種記念事業

と並行しながら、今回のWFFに関する準備も進めて参りました。

当地区の村井総一郎ガバナーが掲げられた活動方針「あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！」に触発（インスパイア）された私たちが、WFFでの出展コンセプトにしたのも我が街から何かを発信することでした。

クラブの例会場が所在するショッピングモール内に、近隣の福祉事業所が合同で授産製品などを販売するアンテナショップがあります。今回の出展では、この「ふくしの店 フクシア」が扱うシフォンケーキ、パウンドケーキ、クッキー、ドライフルーツ、コーヒー豆等の販売を行いました。これらの物品は、私たちの地域で暮らす障害者の皆さんが、



各就労継続支援事業所で生産した手間と気持ちを込めた製品でした。

WFF会場では、福祉施設職員であるフクシアのスタッフと、分区内7クラブが共同で支援している阿久比高校インターアクトクラブの生徒さん達に販売の応援していただきました。私たちロータリアンは、ブースの前で行き交う人々に声をかけ、商品に目を向けていただくようお誘いしまし



第6回 ワールドフード+ふれ愛フェスタ 報告



た。皆の協力で2日目午後の閉会前には、持ち込んだ商品のほとんどを販売することができました。

力をあわせた地域の福祉施設にとっても、インタアクターにとっても、ロータリアンにとっても「私たちの街でロータリーを！私たちの街からロータリーを！」を実感する瞬間でした。

